

10月25日 14人が知事に要請

# 計画はいったん中止し県民の意見を

10月25日、「県立高校を考える会」、「湖北の高校を守る会」、「彦根・愛知・犬上 高校を守る会」の3団体(14人)は、知事に、統廃合計画の中止を要請しました。

要請内容は次のようです。

## 「考える会」

8月7・8日の県民説明会で「地域の高校をなくして欲しくない」という声がいっぱい出た。12の市町議会で意見書が上がっている。街頭で署名をしていると、大方の人が「まさか嘉田知事がそんなことはしない」という。そのまま突き進めば、知事や県の思いと、地域住民の思いが離れてしまう。一旦計画を中止して1年間は地域住民の声を聞いて欲しい。

## 「湖北の会」

長浜農業では退学者は減っている。それは、少人数の中で丁寧に関わりを持っているからだ。長浜市では、党派を超えて4会派の議員を含めて35人が世話人になって、運動を進めている。湖北には、なくしていい学校は一つもない。みんな地域に根ざした高校だ。いま長浜農業のPTA会長が真剣になって動き始めた。

## 「彦根・愛知・犬上の会」

愛荘町は町長が先頭になってがんばっている。地域の人愛知高校がなくなると寂しくなる、と真剣に運動している。中学3年生は廃校が決まった学校には行きたくなくなる。進路指導が本当に困る。



## 高校統廃合はストップせよ

速報第28号 2010/10/26 発行：滋賀高教組

(増し刷りして全教職員に配布し、また掲示板に貼るなどして下さい)

あと一週間、来週の水曜日です

## 「県立高校をつぶすな」11・3県民のつどい

「11・3県民つどい」の案内チラシが届けてあります。全教職員用に配布して、こぞって参加して下さい。

私たちの要請に、知事は次のように述べました。  
嘉田知事

地域に根ざした高校はとても大切だ。4クラス以下の学校をなくすなどとは言っていない。25校がなくなると書いてある文書を見たが、事実と違う宣伝が一人歩きしている。残念な思いだ。子どもが減って何らかの再編は必要だが、教育や福祉を大切にしたいはささかも変わっていない。政局の問題ではなく政策の問題だ。子どもの目線で考えるべきなのに、なぜ私の思いが分かってもらえないのか。

## 「考える会」

ビラには、県の基準から、5学級以下の25校を統廃合の対象だと示している。なくすのは10校程度と書いてある。確かに統廃合は政策の問題、子どもの目線は大事ですので、是非時間をかけて話し合しましょう。

20分間でしたが、緊張した真剣なやりとりになりました。

## マスコミが注目 BBCとNHKが放映

引き続き記者会見には、ほとんどの新聞社が参加し、テレビカメラも入りました。知事への要請と記者会見の様子は、BBCの「きらりん滋賀」、NHKの「おうみ発610」「おうみ発845」などで放映されました。マスコミ関係者の注目ぶりは、統廃合問題が県民の関心事になり、県政の重大問題になってきたことを示しています。

